

2026年度植物工場研修 研修No 3

メロンの植物工場栽培の可能性 (7月29日-30日)

		I (8:50~10:10)	II (10:20~11:20)	III (11:30~12:30)	昼休	IV (13:30~14:20)	V (14:30~15:20)	15:30~16:10	16:30~
7/29	水		メロンの生理と栽培の基礎	メロンの養液栽培の基礎		メロン養液栽培の 取り組みと普及	イチゴ+メロンを組合わせた 栽培体系の可能性	今日の質疑応答	懇親会
		受付： 9:40~ 開講式： 10:00~ 開講の挨拶 受講案内	植物工場の新たな対象品目としてメロンを考える際に必須な植物生理の基礎知識を整理して解説します。具体的には、光合成・転流・呼吸などや、養分吸収などについて、理論を中心に解説します。	メロンの養液栽培に関する基礎的な知識について分かりやすく解説します。養液栽培とは何かや、様々な養液栽培方式や培養液管理の考え方についても解説します。		実際にメロン養液栽培への取り組みと普及について行っている経験をベースに課題や可能性について紹介します。	メロンは定植から収穫までの期間が比較的短く、暑さにも相対的に強いので、イチゴの後作にメロン栽培を取り入れている三倉農園の経験を紹介します。	~終わり次第終了	
			株式会社静岡アグリビジネス研究所 糠谷 明			株式会社大和コンピューター 田代 貴志	三倉農園 三倉 直己	糠谷・田代・三倉・ 丸尾・布村	
7/30	木	見学	メロン栽培の環境制御 種子繁殖型イチゴ苗の活用	培地栽培を効率的に行う 日射比例を活用した栽培システム	修了式				
		研修用に栽培した施設を見学します。 ・播種から収穫まで ※1 ・培養液処方について ※2 ・品質につて ※3 ・日射比例の実際	メロンやイチゴの栽培に関連した環境制御や培養液制御の話題を紹介します。また、メロンとイチゴの栽培を組み合わせる場合は種子繁殖型イチゴ苗の活用が有利であるので、それについても紹介します。	培地を用いるメロンの養液栽培では、培地量が少ない場合、灌液管理が肝になります。効率的かつ精密な制御が可能になる日射比例型灌液制御システムの御紹介をします。 ※質疑応答をみます	~13:00				
		植物工場研究会 布村 伊	植物工場研究会/千葉大学名誉教授 丸尾 達						

※1 播種、育苗、定植、振り分け、吊り上げ、整枝、交配、摘果、玉吊り、整枝、試し切り、収穫

※2 NFT、培養液処方(静大処方、山崎メロン処方)と分析値、追肥、培養液更新

※3 NFT、培養液処方(静大処方、山崎メロン処方)と分析値、追肥、培養液更新

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします